

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ショクレン北海道、品目：精米

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 自社精米工場を保有し、品質管理体制・衛生管理体制を強化しながら、販路を国内外に拡大。主食である米の食品メーカーとして消費者基点に立ち、コンプライアンスを基に、食品安全・品質管理・衛生管理・食品防御等の推進体制を確立している。
- これまで中国、マカオ、ベトナム、香港、シンガポール、アメリカ、台湾、英国、フィリピン、ロシア向け輸出に取り組んで販路を拡大していく中で、2018年にはベトナムに現地法人を設立し、日本産米に特化した精米事業（原料である日本産米を温度管理が可能なリーファコンテナ輸送及び倉庫保管体制を構築し、主に、ベトナム国内向け小売業や外食産業、個人EC販売などに卸販売）を行っている。
- 近年の米価の変動等を踏まえて、付加価値の高い商品展開による収益性の確保、賞味期限の延長や風味・食味の劣化防止等の現地市場のニーズに対応することを通じた外国産米との差別化や品質面での競争力強化など、精米輸出の強化が必要。

【課題】

① 生産

- ・ 生産コストの低減のための効率的な生産体制の実現。
- ・ EUの残留農薬基準に対応した米の生産拡大。
- ・ 輸出先国毎の市場ニーズに合わせた生産が可能な連携体制の構築。

② 製造/加工

- ・ 国際規格に対応した食品安全マネジメントシステムの構築及び施設整備。
- ・ 賞味期限の長期化、食味及び風味の劣化防止への対応。

③ 物流

- ・ 物流コストの低減。
- ・ 輸送中の鮮度維持の検証。

④ 販売

- ・ アメリカ、英国、アジア諸国向け輸出拡大に向けて、取引先ニーズに対応した国際規格の取得。
- ・ 現地市場ニーズに合った品種や賞味期限（店頭での販売期間）の長期化等の提案。

2. 輸出事業計画の取組内容

① 生産

- ・ 乾田直播の栽培体系の確立に向けて、産地化対策会議で記録可視化のプロセスを共有し、コンサルの指導のもと、高速PDCAサイクルを回して、課題発掘と解決に継続的に取り組む。
- ・ 生産者と連携して、栽培記録・防除履歴の可視化など、EUの残留農薬基準に対応した米の生産拡大に取り組む。
- ・ 生産者と共同で産地内サプライチェーン連携、海外市場調査、現地視察に基づく現地市場ニーズに基づく生産に向けた連携の強化に取り組む。

② 製造/加工

- ・ FSSC22000認証の取得に向けて、専門家のアドバイスを受けて食品安全マネジメントシステム構築及び施設整備に取り組む。
- ・ 上記に合わせて、賞味期限の長期化、食味及び風味の劣化防止に向けた機械・機器導入及びライン構築に取り組む。

③ 物流

- ・ 他企業と連携して効率的な物流網の構築に継続的に取り組む。
- ・ 国内商社と連携して、都道府県域を跨いだ集荷から輸出の物流網構築に取り組む。

④ 販売

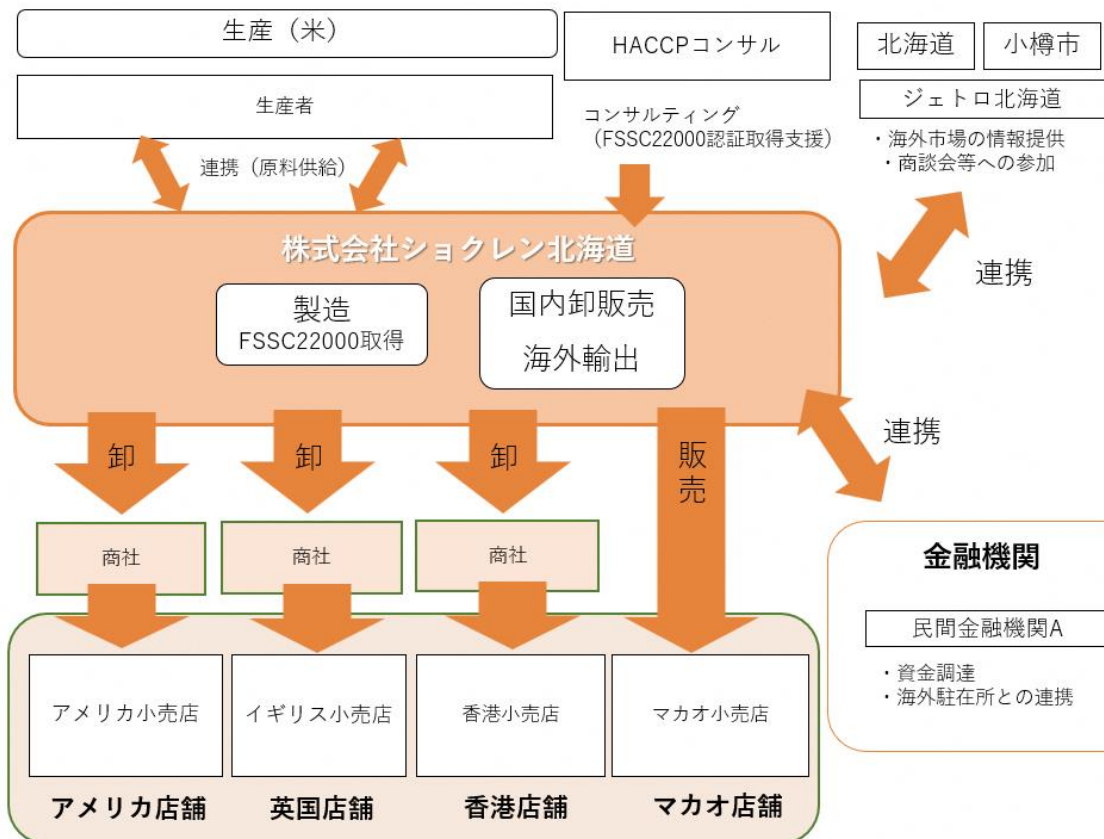
- ・ 食品安全マネジメントシステムを構築してFSSC22000認証を取得し、アメリカ、英国、アジア諸国向け輸出拡大を目指す。
- ・ 施設整備に基づき、現地市場ニーズに応じた品種、商品の提案に取り組む。

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ショクレン北海道、品目：精米

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

○生産から海外販売にかけて関係者が連携し、計画・実行・評価・改善を継続的にまわすPDCA体制により、アメリカ、英国、香港、マカオに向けた米の輸出拡大を図る。



4. 輸出目標額

○海外売上目標

- ・輸出ターゲット国向けの輸出額は、令和14年度に約5千万円の増額を想定している。
- ・ターゲット国は、マカオ、香港、アメリカ、英国とする。

		現状 (令和7年6月期)	目標年 (令和14年6月期)
北海道地区	輸出額(千円)	50,000	102,806
	輸出量 (kg)	297,760	553,510
	輸出先国	マカオ、アメリカ	マカオ、香港、アメリカ、英国